

取扱説明書

EPC-210-EIP

送受信機 - EtherNet/IP™対応

EPU-100 および EPL-48-D6-D6 は
2024年6月をもって廃止いたしました。

 **NBK**[®]
鍋屋バイテック会社

はじめに

この度は、鍋屋バイテック会社の「送受信機 - EtherNet/IP™対応(EPC-210-EIP)」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

特に「1 安全に関する注意事項」については、重要な項目となります。内容を正しくご理解のうえ、ご使用ください。

本書は、実際にご使用になる方が必要なときに、いつでも見られるようにしてください。

本商品の適用について

本商品は、一般工業用途を対象として設計されています。

誤操作や故障により人命や人身の傷害につながる可能性のある用途、または故障により社会的に重大な損害や影響を与える可能性のある用途では使用しないでください。

- ・ 特殊用途への適用をご検討の際は、弊社までお問い合わせください。
- ・ 重大な事故または損失の可能性のある設備に本商品を適用する場合、フェイルセーフ機能(緊急停止装置、監視装置等)の組み込み、設置を行ってください。

廃棄について

廃棄する場合は、各自治体の規則や条例に従って産業廃棄物として処理してください。

© 2021- Nabeya Bi-tech Kaisha Co., Ltd.

本書の内容の全部または一部を無断でいかなる方法においても複製あるいは転載することはおやめください。

商品改良のため、予告なく本書に記載している仕様の一部を変更することがあります。

図記号の説明

具体的な内容は図記号の近くに文章で指示します。



Point

案内文の補足説明や知っておくと役に立つ情報を示します。



本書、または関連取扱説明書での参照ページを示します。

はじめに

梱包品の確認

<p>本体(1台) 型式:EPC-210-EIP</p> 	<p>アンテナ(1本)</p> 	<p>電源・有線ユニット接続 コネクタ(1個) 型式:TFMC 1,5 / 7-STF-3,5</p> 	<p>終端抵抗120Ω(1個)</p> 
<p>USB2.0ケーブル1m (1本)</p> 	<p>簡易ガイド</p> 		

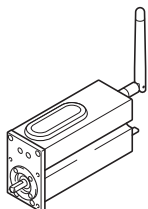
ハンドル自動化ユニット関連取扱説明書

お客さまのご導入に合わせて以下の各取扱説明書もご用意ください。

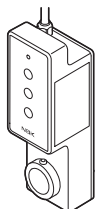
以下の全てのPDF取扱説明書は、弊社の商品ページからダウンロードできます。
https://www.nbk1560.com/products/mechatronics/positioning_unit

●ハンドル自動化ユニット

・EPU-100



・EPU-220



●専用ソフトウェア

・EPU-COM



EPU-100 および EPL-48-D6-D6 は2024年6月をもって廃止いたしました。

もくじ

はじめに	1
1 安全に関する注意事項	5
1.1 必ずお守りください	5
1.2 設置と配線に関する注意事項	6
1.3 運転と点検に関する注意事項	8
2 概要	9
2.1 商品概要	9
2.2 各部の名称と機能	10
2.3 モニタ用LED点灯パターン	11
2.4 ブロック図	13
3 仕様	14
4 設置と接続	15
4.1 設置条件	15
4.2 送受信機の設置	16
4.2.1 DINレールに取りつける場合	16
4.2.2 無線通信を行う場合(アンテナの取り付け)	17
4.3 接続	18
4.3.1 接続例	18
4.3.2 ユニットに有線接続する場合	19
4.3.3 PCに接続する場合	21
4.3.4 PLCに接続する場合	22
5 保守	24
5.1 点検時のお願い	24
5.2 点検項目	24
6 トラブルシューティング	25
7 外形寸法図	26
8 電波およびEMCに関するご注意	27
8.1 電波に関するご注意	27
8.2 EMCに関するご注意	28

もくじ

9	法令・規制	29
9.1	日本 (技術基準適合証明)	29
9.2	欧州 (CE)	30
9.3	アメリカ (FCC)	30
9.4	カナダ (ISED)	31
9.5	韓国 (KCC)	31
9.6	台湾 (NCC)	31
10	保証	32
	改訂履歴	34

1 安全に関する注意事項

1.1 必ずお守りください

安全にご使用いただくために、以下の注意事項を正しくご理解のうえ、ご使用ください。

- (1) ハンドル自動化ユニットを用いたシステムを構築する際は、システムを構成する各機器・装置の仕様をご確認のうえ、定格・性能に対し余裕を持った使い方をし、万一故障があっても危険を最小にする安全回路などの安全対策を講じてください。
- (2) ハンドル自動化ユニットを安全にご使用いただくために、システムを構成する各機器・装置の「安全に関する注意事項」を必ずお読みください。
- (3) ハンドル自動化ユニットの適合すべき規格・法規または規制に関しましては、お客さま自身でご確認ください。
- (4) 取り扱いや使用方法を誤ると、思わぬ事故の発生や商品の寿命を短くすることがあります。
- (5) お客さま、または第三者使用による誤った使用、使用中に生じた故障、その他の不具合、本機の使用によって受けられた損害については、法律上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いません。

本書では、人的被害およびユニットや周辺設備の損害を未然に防ぐため、安全注意事項を下記のように区分してあります。

具体的な内容は警告・注意表示の近くに文章で指示します



警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷^{※1}を負う危険な状態が生じることが想定される場合を示します。



注意

取り扱いを誤った場合に、軽傷^{※2}を負うか、または本商品および周辺の設備に損害が生じることが想定される場合を示します。

※1 重傷とは、失明、ケガ、やけど、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

※2 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないケガ、やけど、感電などを指します。

具体的な内容は図記号の近くに文章で指示します



禁止

禁止(してはいけないこと)を示します。
禁止されている作業は絶対に行わないでください。



強制・指示

強制(必ずすること)を示します。
強制されている作業は指示通り行ってください。

1 安全に関する注意事項

1.2 設置と配線に関する注意事項



警告

【けがや感電、火災、故障のいずれかの原因になるため、指示通り行ってください】



強制・指示

- ・ 地震に備えて火災や事故が起こらないように確実に設置する
- ・ 湿気やほこりなどの多い場所には設置しない
※特殊な環境、または用途で使用する場合は弊社へご相談ください
- ・ 配線は設置後に行い、電源端子の接続部には絶縁処理を施す
- ・ 異常時にはただちに運転を停止し、電源を遮断できるように外部に非常停止回路を設置する



禁止

【けがや感電、火災、故障のいずれかの原因になるため、禁止してください】

- ・ 電源・配線コードを破損するようなことはしない
- ・ 内部に金属片をいれたり、水をかけたりぬらしたりしない
- ・ ぬれた手で設置や配線をしない
- ・ 振動や衝撃の激しいところには設置しない



注意

【けがや感電、火災、故障のいずれかの原因になるため、指示通り行ってください】

強制・指示

- ・ 配線は正しく確実にを行い、指定された取り付け方法に従い設置する
- ・ 周囲温度が-5℃ ~ 55℃(凍結がないこと)、周囲湿度が20%RH ~ 85%RH(結露がないこと)の場所に設置する
- ・ 予期しない動作を避けるため、運転前に各設定項目の確認および調整を行う

【けがや感電、火災、故障のいずれかの原因になるため、禁止してください】

禁止

- ・ 屋外や直射日光(紫外線)があたる場所で使用しない
- ・ 静電気が発生する場所で使用しない
- ・ AC電源を直接接続しない
- ・ 決められた電圧以外は印加しない
- ・ 多段積みは行わない
- ・ 強い衝撃をあたえたり、傷つけたりしない

1 安全に関する注意事項

1.3 運転と点検に関する注意事項



警告



強制・指示

【けがや感電、火災、故障のいずれかの原因になるため、指示通り行ってください】

- ・ エラー発生時は原因を取り除き、安全を確保したうえで運転を再開する
- ・ ペースメーカーを使用している人は、本機から適切な距離を保つ
- ・ 月に一度保守・点検を行い、その際は十分な作業スペースを確保する



禁止

【けがや感電、火災、故障のいずれかの原因になるため、禁止してください】

- ・ 分解・修理・改造はしない
- ・ 故障した場合は、電源側でただちに電源を遮断し、再通電しない
- ・ 通電中は移動・配線・点検をしない
- ・ 本機の近くで、可燃性ガスを使用しない
- ・ ぬれた手で操作しない



注意



強制・指示

【けがや故障のいずれかの原因になるため、指示通り行ってください】

- ・ 長時間使用しない場合は、電源を切る



禁止

【けがや火災、故障のいずれかの原因になるため、禁止してください】

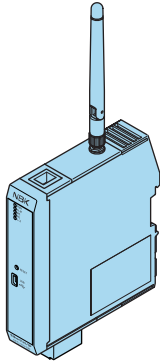
- ・ 電源を頻繁に投入したり、遮断したりしない
- ・ 停電発生時の復電後、突然再始動するおそれがあるため、装置には近寄らない

【動作が不安定になるため、禁止してください】

- ・ 極端な調整や変更は行わない
- ・ 上に乗ったり、重いものを載せたりしない

2 概要

2.1 商品概要



送受信機 - EtherNet/IP™対応(EPC-210-EIP)

- ・ ハンドル自動化ユニット用の送受信機です。
- ・ PLCと、EtherNet/IP™接続することができます。
- ・ ハンドル自動化ユニットを最大32台自動一括制御できます。
- ・ 送受信機の設定は、PCと専用ソフトウェアEPU-COMを使って簡単にできます。
- ・ DINレールフットを使ってワンタッチでDINレールに取りつけることができます。



Point

EPC-210-EIPは、EtherNet/IP™に対応したアダプタ機器です。

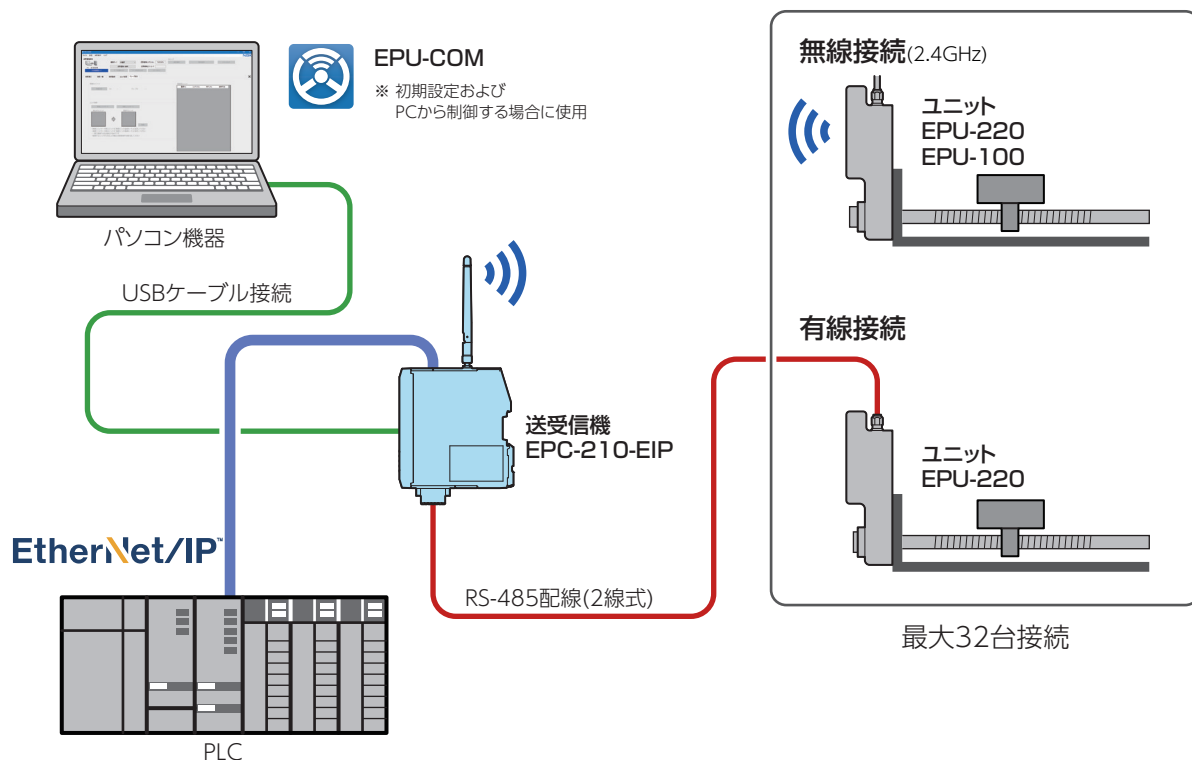


Point

EtherNet/IP™とはイーサネット(LANに使用されている通信規格：TCP/IP)を使用した産業用のマルチベンダネットワークです。

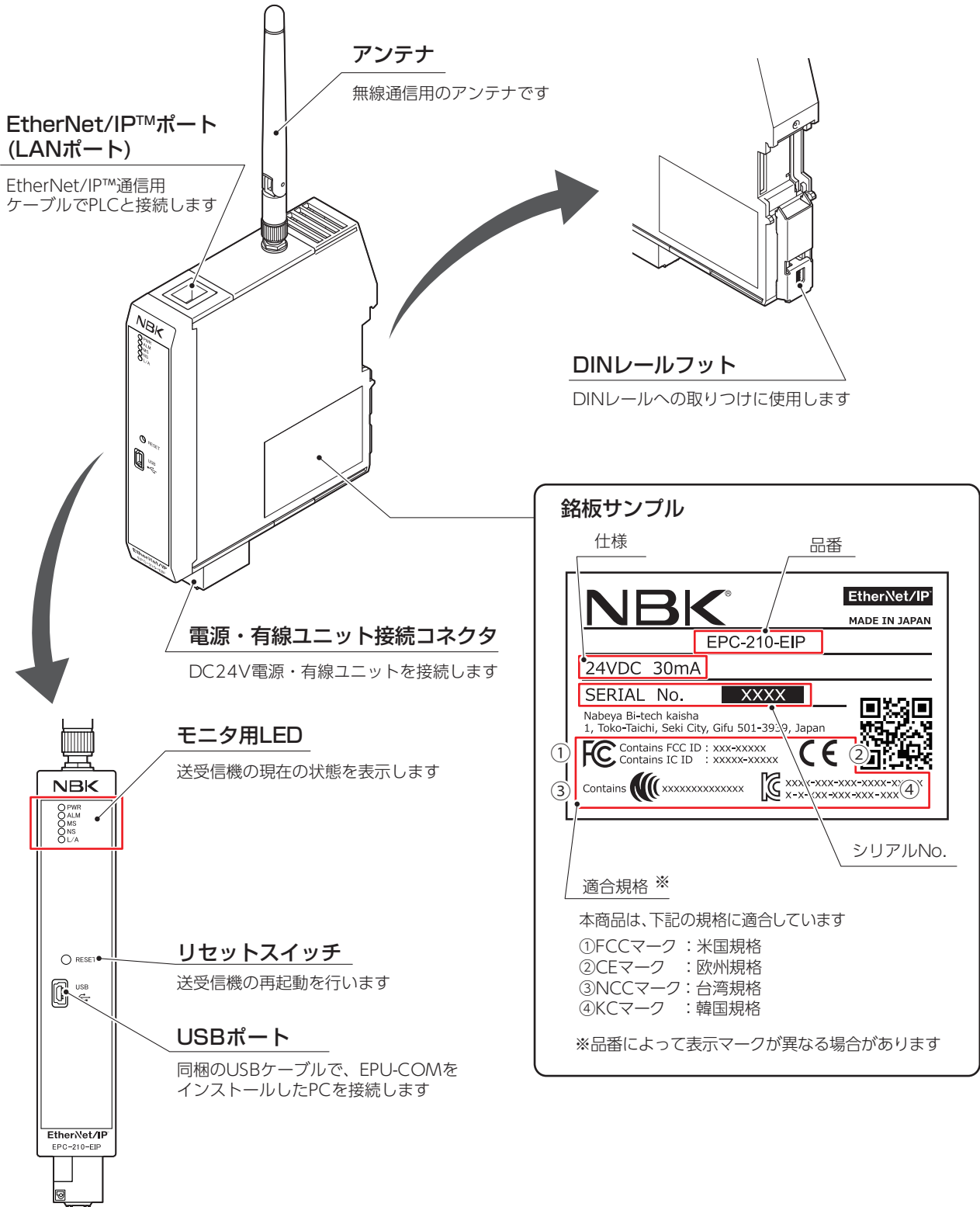
EtherNet/IP™はODVAの登録商標です。

接続例

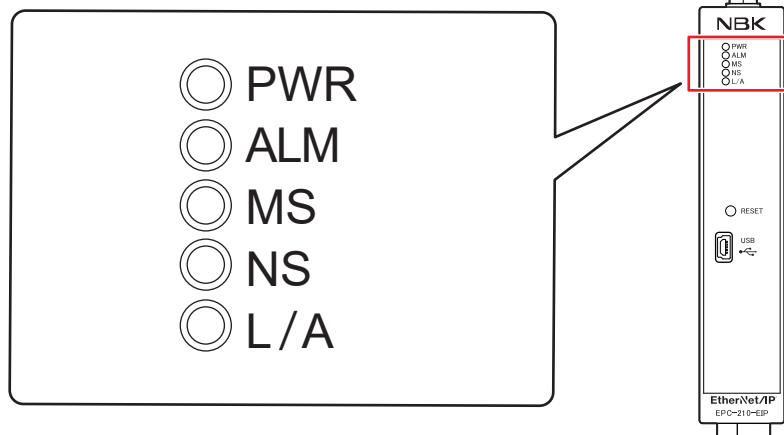


EPU-100 および EPL-48-D6-D6 は
2024年6月をもって廃止いたしました。

2.2 各部の名称と機能



2.3 モニタ用LED点灯パターン



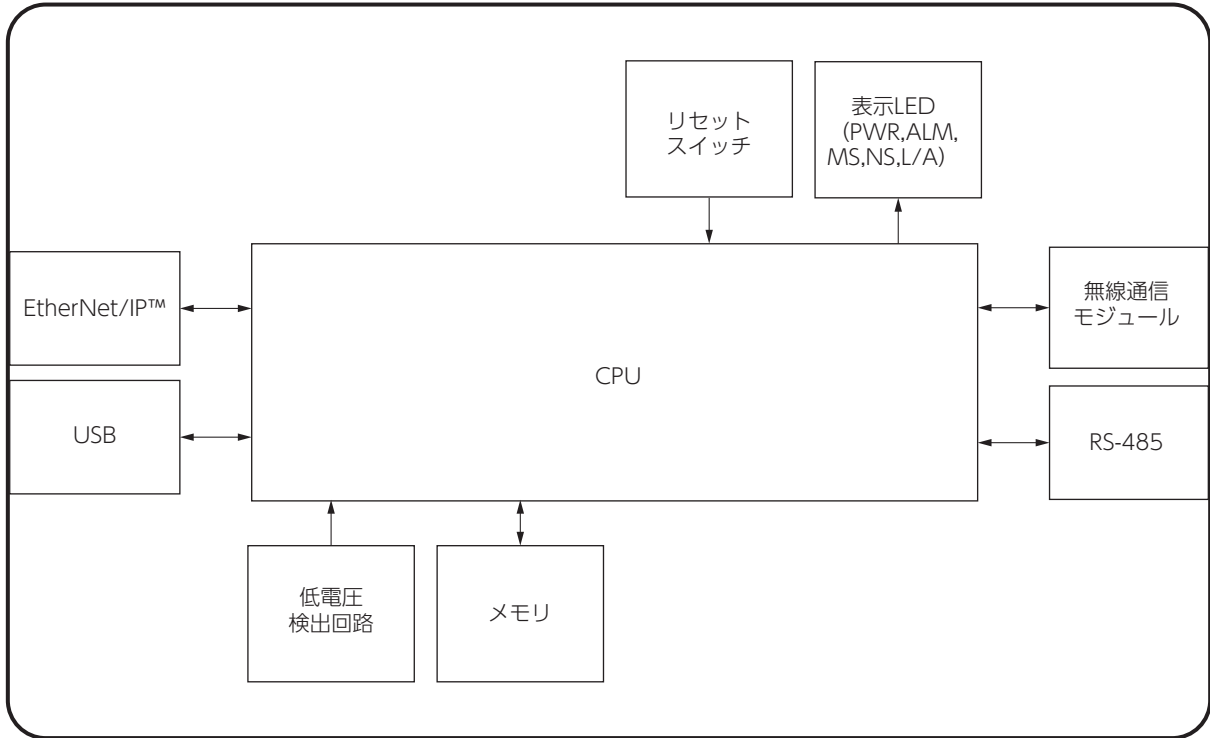
LED名称	LED色	内容
PWR	● 緑	点灯：電源ON
		消灯：電源OFF
ARM	● 赤	点灯：故障
		点滅：EPC-210-EIPエラー発生
MS	● 緑	点灯：正常動作中 スキャナ(マスタ)のコントロール下にある状態
		点滅：スキャナ(マスタ)とのコネクションが確立していない 構成情報の設定を確認する スキャナ(マスタ)がアイドル状態になっていないか確認する
	消灯：電源OFF	
	● 赤	点灯：ハードウェア異常 ボード交換が必要
		点滅：コンフィグレーション異常、設定不正など軽微な異常 再設定などで回復可能
		消灯：電源OFF

2 概要

LED名称	LED色	内容
NS	 緑	点灯：コネクションが確立し正常に通信中
		点滅：オンライン状態になっているが、コネクションが確立していない 通信停止中(ネットワークは正常) マスタユニットの状態を確認する
	 赤	点灯：通信異常(IPアドレス重複などのエラーを検出)
		点滅：通信異常(通信タイムアウトを検出) 消灯：電源OFF、またはIPアドレス未設定
L/A	 緑	点灯：オンライン EtherNet/IP™のフレームの送受信がない
		点滅：オンライン EtherNet/IP™のフレームの送受信がある
		消灯：オフライン EtherNet/IP™のフレームの送受信がない

2.4 ブロック図

送受信機 - EtherNet/IP™ 対応
(EPC-210-EIP)



3 仕様

使用環境

使用環境	温度	-5℃ ~ 55℃ (凍結がないこと)
	湿度	20%RH ~ 85%RH (結露がないこと)

送受信機 - EtherNet/IP™対応 (EPC-210-EIP)

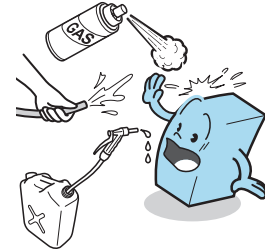
入力電圧		DC24V ± 10% (外部給電) DC 5V ± 5% (USB給電)
消費電流		30mA
ホスト接続方式		PLC : EtherNet/IP™ PC : USB2.0
最大接続ユニット数		32台
ユニット接続方式	無線	2.4GHz帯無線通信
	有線	RS-485
無線送信出力		6.3mW
無線動作周波数		2405 - 2475MHz
無線到達距離 (参考値)	屋内	60m
	屋外	1200m
外形サイズ (コネクタ・アンテナ含まず)		25mm × 122.5mm × 117mm
質量 (コネクタ・アンテナ含まず)		130g

4 設置と接続

4.1 設置条件

設置のため必要な環境条件は以下のとおりです。適切な環境に設置してください。

- ・ 屋内
- ・ 直射日光(紫外線)が当たらない場所
- ・ 継続的な振動がない場所
- ・ ほこりが少なく、水、油などのかからない場所
- ・ 放熱しやすい環境
- ・ 点検や清掃のしやすい場所
- ・ 周囲温度が $-5^{\circ}\text{C} \sim 55^{\circ}\text{C}$ (凍結がないこと)、周囲湿度が $20\%RH \sim 85\%RH$ (結露がないこと)の場所
- ・ 水のかかる場所、腐食性の雰囲気、引火性ガス、有害ガスの雰囲気、可燃物が近くの設置は避ける
- ・ 送受信機が外来ノイズの影響を受ける可能性があるため、設置環境には十分配慮する
- ・ 無線性能が低下するため、無線で操作する場合は制御盤などの金属筐体内への設置を避ける



Point

- ・ 『1.2 設置と配線に関する注意事項』をよくお読みのうえ、正しく設置してください。



P.6 参照

- ・ 特殊な環境、または用途で使用する場合は弊社コンタクトセンターへお問い合わせください。



P.32 参照

無線の通信距離は設置・接続条件により、変化します。
以下の条件では通信距離が短くなる場合があります。

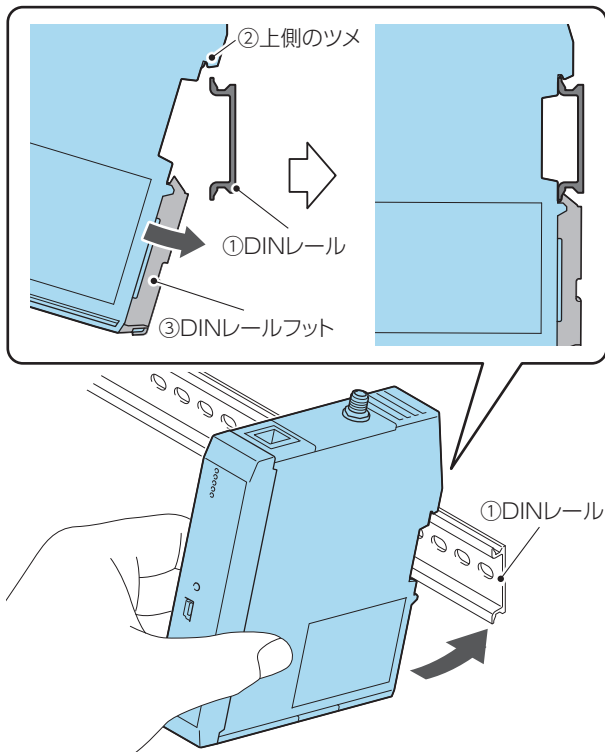
- ・ 伝送路に障害物がある環境(鉄筋や鉄筋コンクリートなど)
- ・ 伝送路に高低差がある場所
- ・ 設置する位置が地面に近い場所
- ・ 周囲に金属がある環境
- ・ 周囲の電波ノイズが多い環境



4.2 送受信機の設置

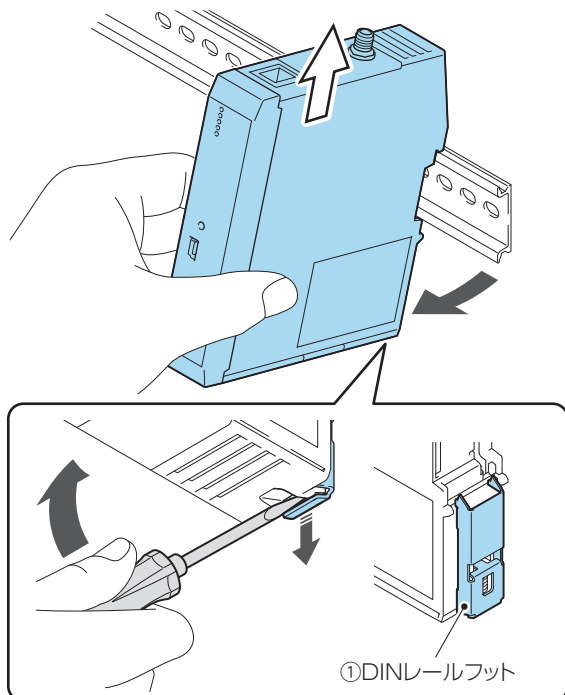
4.2.1 DINレールに取りつける場合

DINレールへの取り付け



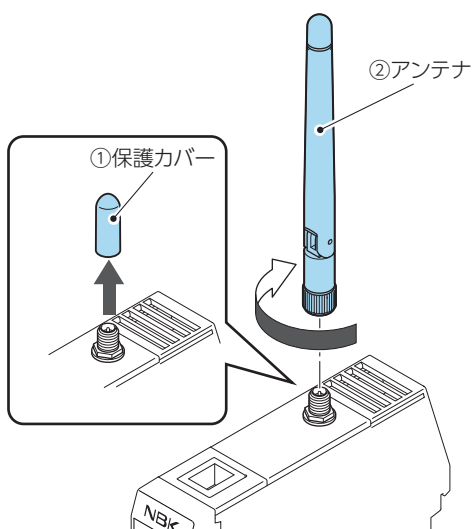
- 1 ①DINレール(幅35mm)の上側に送受信機の②上側のツメを引っかけます。
- 2 ③DINレールフットをDINレールに「カチッ」となるまで押しつけます。

DINレールからの取りはずし



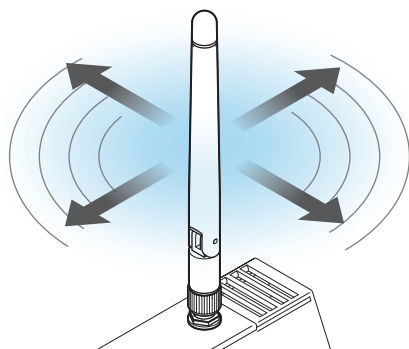
- 1 マイナスドライバーなどで①DINレールフットを引き下げます。
- 2 送受信機を持ち上げて取りはずします。または、DINレール上をスライドさせて取りはずします。

4.2.2 無線通信を行う場合(アンテナの取り付け)



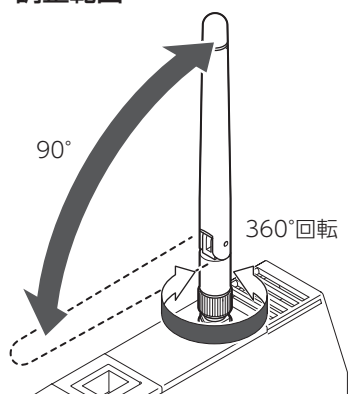
- 1 ねじ部の①保護カバーを取りはずし、同梱の②アンテナを取り付けます。

電波イメージ

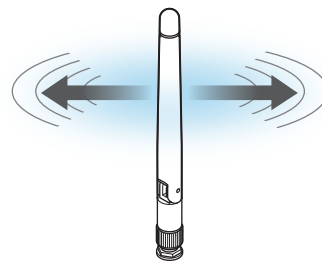


- 2 無線の電波はアンテナの軸から垂直方向に放射されます。電波の指向性に配慮して、アンテナの角度を調整してください。

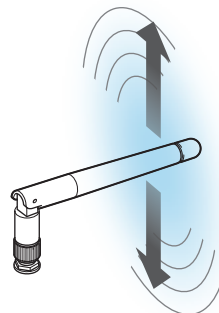
アンテナ調整範囲



アンテナを立てると、水平方向に電波が飛びやすくなります。



アンテナを倒すと、上下方向に電波が飛びやすくなります。

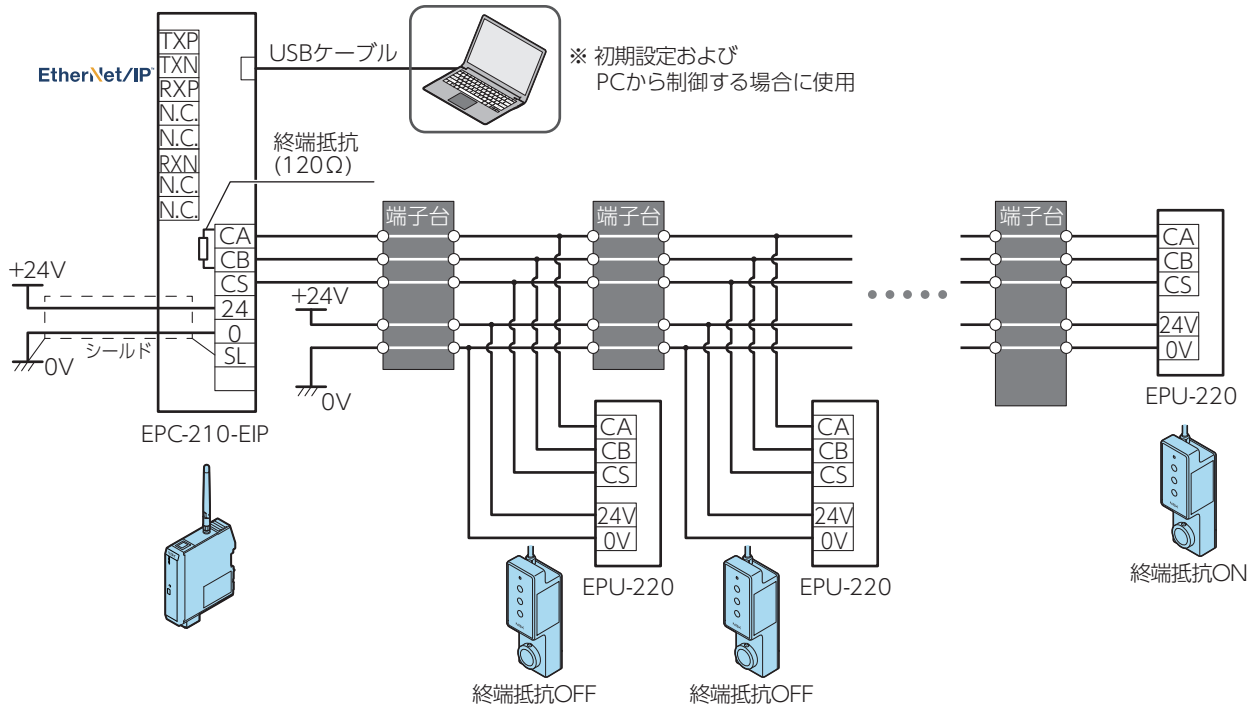


4 設置と接続

4.3 接続

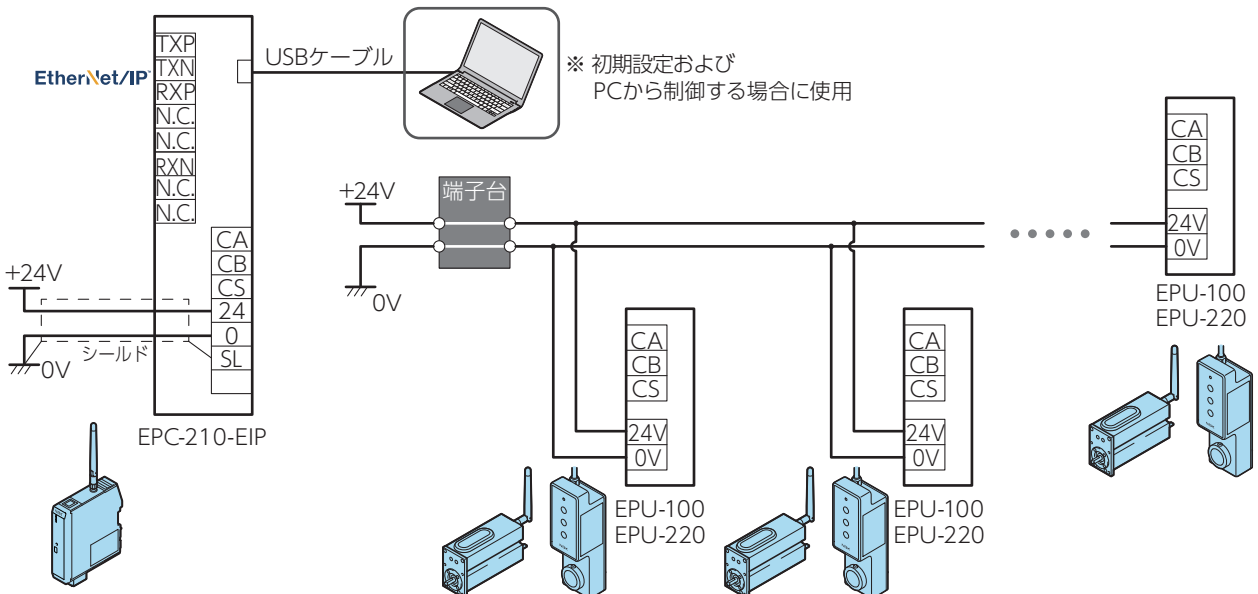
4.3.1 接続例

接続例1 有線接続(RS-485)



送受信機側の通信ライン「CA」-「CB」の両端に、同梱の終端抵抗(120Ω)を取りつけてください。

接続例2 無線接続(2.4GHz帯無線通信)



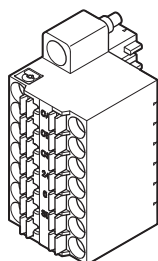
EPU-100 および EPL-48-D6-D6 は
2024年6月をもって廃止いたしました。

4 設置と接続

4.3.2 ユニットに有線接続する場合

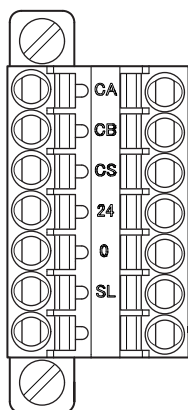
電源・有線ユニット接続コネクタ

仕様



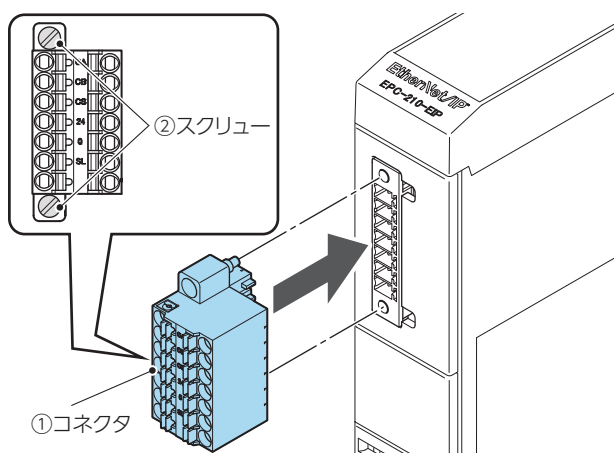
コネクタ	メーカー	PHOENIX CONTACT
	型式	TFMC 1,5 / 7-STF-3,5
極数		7
適合電線サイズ		AWG16-24

コネクタ配列



信号名称	内容
CA	RS-485 通信用信号(A)
CB	RS-485 通信用信号(B)
CS	RS-485 GND/シールド
24	24VDC
0	0V
SL	フレームGND/シールド
予約	-

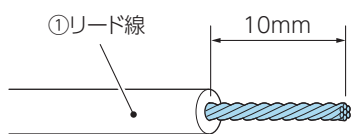
電源・有線ユニット接続コネクタの取り付け



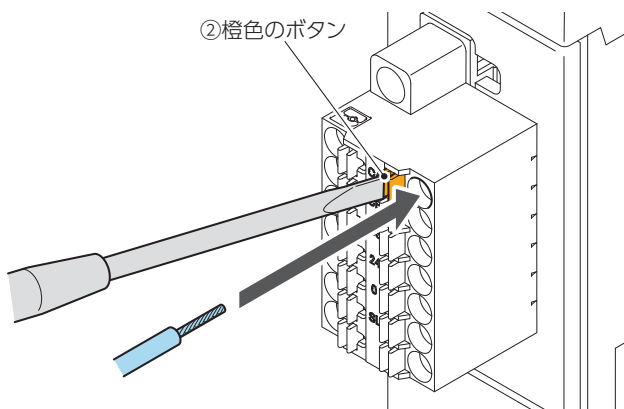
- 1 送受信機に①コネクタを差し込みます。
- 2 マイナスドライバーで②スクリュー(2か所)を締めつけます。
(推奨締めつけトルク：0.3N・m)

4 設置と接続

電源・有線ユニット接続コネクタとリード線の接続方法



1 ①リード線の絶縁被覆を10mm剥きます。



2 精密用マイナスドライバーで②橙色のボタンを押したまま、リード線を挿入します。

リード線を挿入したら、ボタンを離して固定します。

4 設置と接続

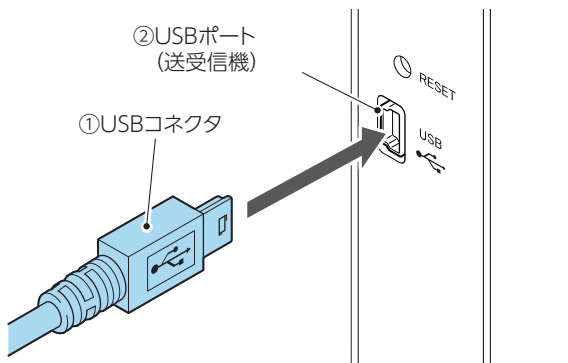
4.3.3 PCに接続する場合

USBポート

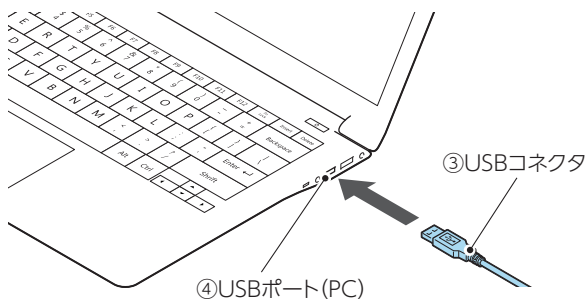
仕様

仕様	USB2.0
形状	Mini USB Type-B

USBコネクタの接続



1 PCに接続するときは、同梱のUSBケーブルの①USBコネクタを送受信機の②USBポートに接続します。



2 同梱のUSBケーブルのもう一方の③USBコネクタをPCの④USBポートに接続します。

4.3.4 PLCに接続する場合

EtherNet/IP™通信ケーブル仕様(推奨仕様)

ケーブル仕様

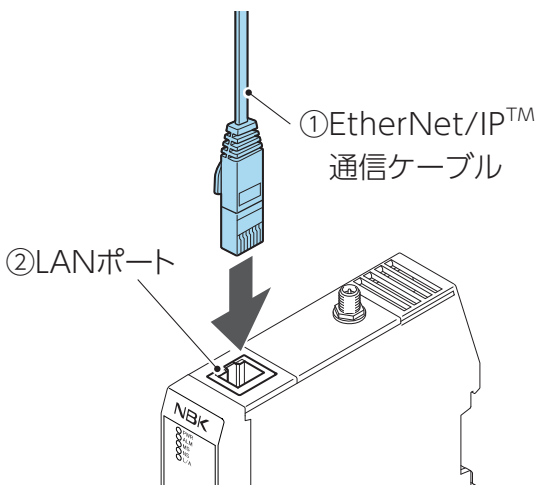
カテゴリ5e以上
アルミテープと編組による
二重シールドケーブル推奨



Point

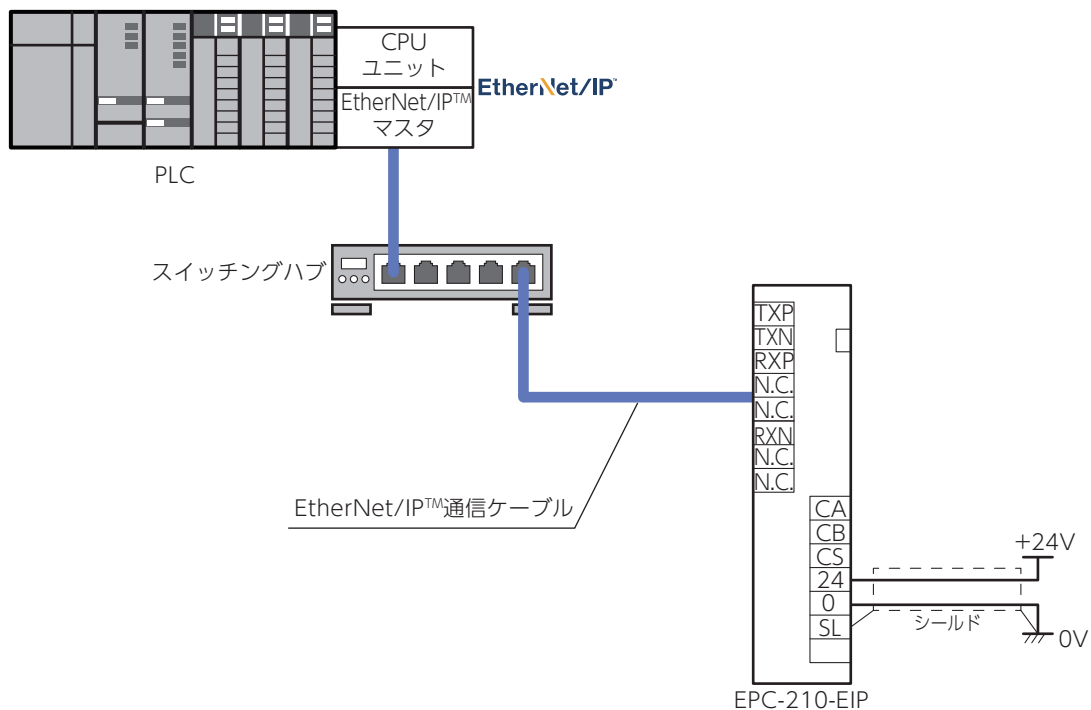
EtherNet/IP™通信ケーブルにつきましては、お客様にてご用意願います。

EtherNet/IP™通信ケーブルの接続



- 1 PLCに接続するときは、①EtherNet/IP™通信ケーブルのコネクタを送受信機の②LANポートに接続します。
- 2 もう一方の①EtherNet/IP™通信ケーブルのコネクタをPLCもしくはスイッチングハブに接続します。

PLC接続例



ピン配列：

ピン番号	信号名	内容
1	TXP	送信データ(+)
2	TXN	送信データ(-)
3	RXP	受信データ(+)
4	N.C.	—
5	N.C.	—
6	RXN	受信データ(-)
7	N.C.	—
8	N.C.	—



送受信機「EPC-210-EIP」は、スター接続に対応しています。

5 保守

安全にお使いいただくために、1か月ごとに点検を行ってください。
異常が見つかった場合は、ただちに使用を中止し、解決するまで使用しないでください。

5.1 点検時のお願い

- ・ 電源の投入や遮断は作業者自身が行ってください。
- ・ 事故を未然に防止するため、必ず定期的に点検を実施してください。

5.2 点検項目

- 電源電圧は仕様値以内か
- 使用環境は仕様値以内か
- 異臭や発熱などの異常がないか
- ちりやほこり、異物などが付着していないか
- DINレール取り付け箇所にゆるみがないか
- コネクタ接続部にゆるみがないか
- ケーブルが損傷していないか、ストレスがかかっているか
- アンテナにゆるみや損傷がないか
- 本体に傷や変形がないか

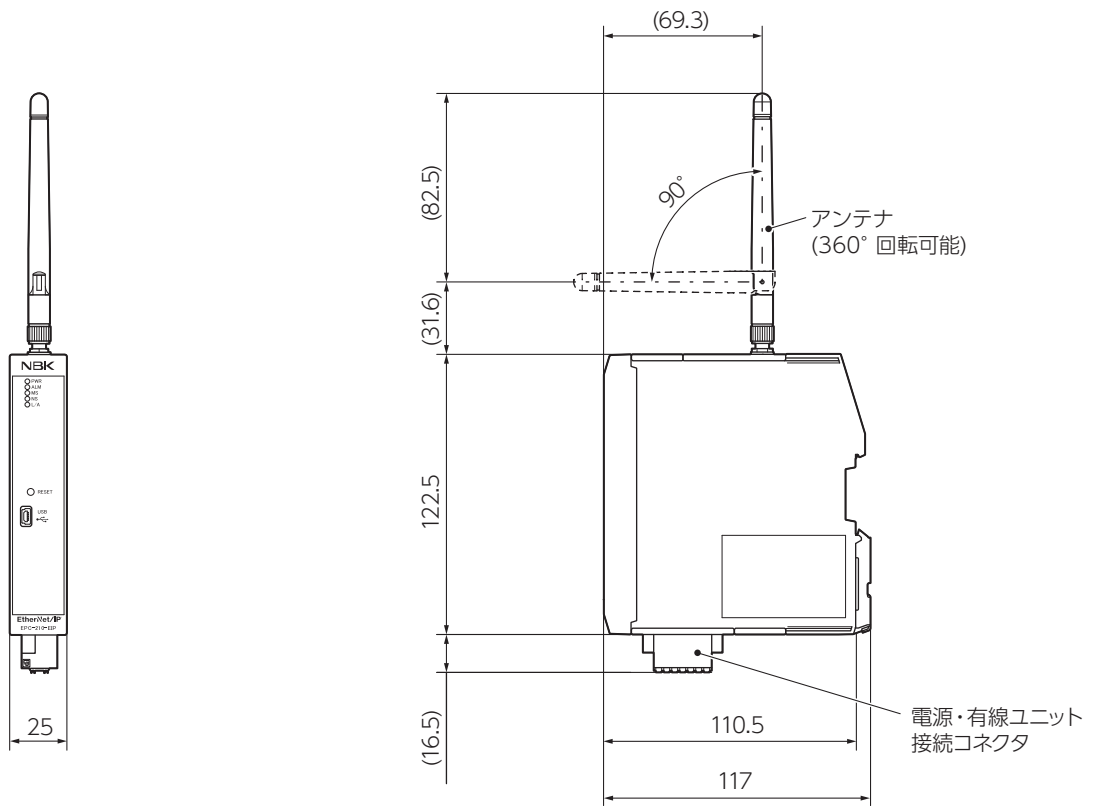
6 トラブルシューティング

症 状	確 認	対 策	解説ページ
モニタ用LED が光らない	電源電圧は正しいですか	電圧レベルが外部給電:24V±10% 以内、USB給電:5V±5%であること を確認します	P.18
	電源ケーブルの接続は正しい ですか	正しく配線をします	
EtherNet/IP™ 通信ができない	EtherNet/IP™通信ケーブル の接続は正しいですか	正しく接続します	P.22
ユニット有線通 信ができない	有線通信ケーブルの接続は 正しいですか	正しく接続します	P.18
	終端抵抗を接続していますか		
ユニット無線通 信ができない	アンテナの接続は正しいですか	正しく接続します	P.17

7 外形寸法図

EPC-210-EIP

(単位: mm)



8 電波およびEMCに関するご注意

8.1 電波に関するご注意

ハンドル自動化ユニット(EPU-220)、および送受信機(EPC-200-CC、EPC-210-EIP)に内蔵されている無線モジュールは2.4GHz帯の周波数を使用しています。

以下の注意事項をよく読んで、正しく使用してください。

お客様、または第三者使用による誤った使用、使用中に生じた故障、その他の不具合、本機の使用によって受けられた損害については、法律上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いません。

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線局設備として技術基準適合認証を受けた無線モジュールを内蔵しています。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

本機は、技術基準適合認証を受けた無線モジュールを内蔵していますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。

- ・ 本機を分解／改造すること
- ・ 内蔵している無線モジュールに貼られている証明ラベルをはがすこと

本機の使用周波数帯では、医療用電気機器や産業・化学機器・工場の生産ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線(免許を要する無線局) および特定小電力無線(免許を要しない無線局)などが運用されています。これらの場所では電波干渉の恐れがありますので、電波による影響について確認し使用してください。

電子レンジ、デジタルコードレス電話、無線LAN、Bluetooth機器などは同じ周波数帯を使用しています。これらの機器と相互に電波干渉しないよう、それぞれ離して使用してください。

(環境により電波が届かない場合があります。)

ペースメーカー、その他医療機器をご使用される方は、当該の医療用電気機器メーカーまたは医療機関や販売業者に電波による影響について確認してください。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しないでください。

8.2 EMCに関するご注意

ハンドル自動化ユニット(EPU-220)、および送受信機(EPC-200-CC、EPC-210-EIP)は、「商品構成取扱説明書」(2.2) 接続例に記載している条件で、EMCの適合性評価を実施しています。

装置としてのEMCの適合性は、使用する部品の種類、配置、配線方法などにより変化します。他の商品またはお客さまが使用されるシステム、装置等と組み合わせて使用する場合は、当社製品を含めたすべての部品を組み込んだ完成状態でお客さま自身でEMCの適合性の評価を実施してください。

また、当社商品は一般工業用であり、以下のような高度な安全性を必要とする用途には企画・設計されていないため、原則使用できません。

- (1) 人命および身体の維持、管理などに関わる医療機器
- (2) 人の移動や搬送を目的とする機構、機械装置 (車両・鉄道施設・航空施設など)
- (3) 機械装置の重要保安部品 (安全装置など)
- (4) 文化財や美術品など代替できない物の取扱装置

9 法令・規制

ハンドル自動化ユニットおよび送受信機の使用可能な国・地域は日本、欧州^{*}、アメリカ、カナダ、中国、韓国、台湾となります。

他の商品またはお客さまが使用されるシステム、装置等と組み合わせて使用する場合は、使用される国の規格・法規または規制の適合をお客さま自身でご確認ください。

※ 欧州で使用できるハンドル自動化ユニットは、黒色(-BK)モデルのみとなります。

使用可能な国・地域の一覧

国・地域	ハンドル自動化ユニット		送受信機
	EPU-220-A-BL EPU-220-B-BL (青色モデル)	EPU-220-A-BK EPU-220-B-BK (黒色モデル)	EPC-200-CC EPC-210-EIP
日本	○	○	○
欧州	×	○	○
アメリカ	○	○	○
カナダ	○	○	○
中国	○	○	○
韓国	○	○	○
台湾	○	○	○

9.1 日本 (技術基準適合証明)

無線基準認証制度に基づいて、技適マークを貼付け、認証番号を記載してあります。

認証番号:210-105563



9.2 欧州 (CE)

EC指令に基づいて、CEマークを貼り付けしてあります。
 ハンドル自動化ユニットは黒色(-BK)モデルのみ、CEマーキング対応品となります。



適用規格

項目	関連規格	ハンドル自動化 ユニット	送受信機
		EPU-220-A-BK EPU-220-B-BK (黒色モデル)	EPC-200-CC EPC-210-EIP
RE指令	Safety	EN 61800-5-1	—*
		EN 60034-1	—*
		EN 62368-1	—*
		EN 62479	○
	EMC	EN 61000-6-2	○
		EN 61000-6-4	○
		EN 301 489-1	○
		EN 301 489-17	○
	Spectrum	EN 300 328	○
	RoHS指令	EN IEC 63000	○

※ "—" は対象外

9.3 アメリカ (FCC)

FCC Part 15 Subpart B/Cに基づいて、FCCマークを貼り付け、およびFCC IDを記載してあります。

FCC ID : MCQ-S2CTH



9.4 カナダ (ISED)

ICES-003に基づいて、認可番号を記載してあります。

IC : 1846A-S2CTH

9.5 韓国 (KCC)

韓国電波法に基づいて、KCマークの貼付け、および認可番号を記載してあります。

認可番号 : MSIP-CRM-DIG-XBee-S2C-TH
R-R-NbK-EPU-220 (EPU-220)
R-R-NbK-EPC-200-CC (EPC-200-CC)
R-R-NbK-EPC-210-EIP (EPC-210-EIP)



9.6 台湾 (NCC)

台湾電波法に基づいて、NCCマーク、および認可番号を記載してあります。

認可番号 : CCAB20LP1360T8



10 保証

保証期間: 納入後1年間とさせていただきます。

保証内容: 本取扱説明書に従った正常な使用状態のもとで、保証期間内に故障が発生した場合のみ、無償で修理または交換いたします。

ただし、保証期間内であっても次のような場合は、有償となります。

- ・ 誤った使用方法、および不適切な修理や改造に起因する場合。
- ・ お買い上げ後の落下、および運送上での損傷が原因の場合。
- ・ 商品の仕様範囲外で使用了ことが原因の場合。
- ・ 火災・地震・落雷・風水害・塩害・電圧異常・その他の天災・災害が原因の場合。
- ・ 水・油・金属片・その他の異物の侵入が原因の場合。

保証の範囲は、商品本体のみです。商品の故障により誘発される損害は、補償外とさせていただきます。

お問い合わせ先

コンタクトセンター<受付時間 平日9:00～17:15(土日祝日および弊社休業日を除く)>

Phone : 0575-23-1162(直通)

Fax : 0575-23-1129(直通)

URL : <https://www.nbk1560.com/>

e-mail : info@nbk1560.com

本社・関工園

〒501-3939 岐阜県関市桃紅大地1番地

MEMO

改訂履歴

日付	識別番号	改訂内容
2021年 4月	UM-EPC210EIP-SU-01	初版
2021年 6月	UM-EPC210EIP-SU-02	第2版
2024年 1月	UM-EPC210EIP-SU-03	第3版 (コーポレート・ロゴマークを変更)
2024年 6月	UM-EPC210EIP-SU-04	第4版 (EPU-100 および EPL-48-D6-D6 廃止の旨を追記)

